なかのアセットマネジメント

NO.
08

なかの号通信

2026年
1月発行

充実コラムと私たちの想いをお届け！

目次

中野晴啓よりメッセージ..... 2

運用チームからのメッセージ..... 3 - 4

PICK UP COMPANY..... 5

投資コラム「トレンドとサイクル」(その11)バリュー投資⑤..... 6

経済エッセイストコラム「NISAとiDeCoの賢い使い方」..... 7

ご自身にあった選択肢を考える 顧客本位の相談室..... 8

セミナー情報..... 9

楽天証券スピンオフセミナー終了のご報告..... 10

昨年から「なかの号通信」をリリースいたしました。
マンスリーレポートとあわせて、ぜひご覧ください。

※巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

なかの号通信

12/14　楽天証券スピンオフセミナーにて

中野 晴啓よりメッセージ

あけましておめでとうございます。２０２５年は、トランプ政権による関税政策に世界経済が揺さぶられながらも、市場ではＴＡＣＯ（Ｔｒｕｍｐ Ａｌｗａｙｓ Ｃｈｉｃｋｅｎｓ Ｏｕｔ）と呼ばれる、トランプ大統領の強硬な発言や政策の撤回・延期が常態とみなされて、実体経済は混乱を免れたとの認識から、株式市場はその後安定した上昇基調が続きました。年末には米国株式市場の代表的指数であるＳ＆Ｐ５００が史上最高値を更新し、日経平均株価も５万円台を保ち、高値更新をうかがう強気基調で新年を迎えています。

さて、２０２６年もそうした「楽観モメンタム」は維持されるのでしょうか。Ａｉブームが先導してきた強気トレンドは、テック企業各社による巨額の先行投資が期待値にふさわしい収益を創出できるかという「収益化の不確実性」を根拠に、株価のバブル化を指摘する声が増えている一方で、少なくとも当面は堅調に推移するとの見方が優勢なようです。

生成Ａｉの心臓部たる先端半導体の開発には、従来とは桁外れの電力と水の消費が不可欠であり、このエネルギー供給サイドとの相反関係はＡｉビジネスのリスク要因のひとつと見ておくべきでありましょう。

そして、より大局的には、世界の社会統治構造が歴史的大転換期に入ったことによる不確実性への備えが必要です。トランプ政権は、戦後８０年に及ぶ国際秩序や安全保障の枠組みを抜本的に否定する意志を鮮明にしました。この米国の変節は、パクス・アメリカーナ（米国の覇権による平和）たる米国覇権の終わりを意識させられることであり、歴史的に見れば、１９８９年のベルリンの壁崩壊を起点としたソビエト連邦消滅に至るパラダイムシフトに匹敵する、大転換を想起させられます。世界の通商交易は従前の常識から脱し、自国の権益を保護すべくブロック経済への回帰を余儀なくされ、２０２６年は域内で自由貿易を担保する新たなグルーピングへと、国同士での合従連衡が活発化しそうです。

安全保障面では、各国が自国防衛への投資を大きく拡大させる、即ち軍備増強トレンドが経済活動にも大きなインパクトを与え始めるはずです。

そうした全世界規模での地殻変動に対して、現状の株式市場は依然として反応が鈍く、Ａｉへの期待が先行する超楽観相場の様相を呈しています。多くの有識者が更なる高値更新を予測する中で迎えた２０２６年ですが、むしろ予測を覆す大変動相場に豹変する可能性を感じずにはいられません。それは市場全体が右肩上がりとなるトレンドの終焉と共に、真に強靭な企業が相対的に浮かび上がる「クオリティ相場」への回帰に繋がる元年となり得る、大きな分水嶺の１年と捉えています。

長期投資で
生活者と社会の幸せに
貢献する

※巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

運用チームからのメッセージ(1/2)

毎月、運用チームのメンバーが徒然なるままに記述をしています。
メッセージを通して、運用チームを少しでも身近に感じていただけると幸いです。

中野 晴啓
代表取締役社長
最高投資責任者
（CIO）

あけましておめでとうございます。早いもので当社の運用も今年は3年目を迎えますが、3年目に入って以降なかのアセット流クオリティグロースのスタイルが確立するに従い、企業リサーチのプロセスや評価へのベクトルも共通言語が明示化されて、大きな進化を実感しながら2026年も長期投資に邁進してまいります！

山本 潤
運用部長
チーフポートフォリオマネージャー

昨年末より日本・世界の両ファンドで運用体制を大きく強化しました。チーム全員で「本当に勝てる投資とは何か」を徹底的に議論し、企業が「現金を稼ぐ力」とそれを投資家に「還元する姿勢」こそが重要だと再確認しました。この基準を実際の銘柄選びやポートフォリオ管理に組み込み、今年の飛躍につなげていく所存です。

菅 淑郎
シニアポートフォリオマネージャー

１年前、このコラムでは長期的な競争力と成長力に資するキャピタル・アロケーションの勉強会を話題にしていました。一方、トランプ関税、生成AI、高市内閣誕生関連といった話題で市場平均は大きく上下した2025年でした。当社の運用哲学に基づき、短期的な株価変動理由の大概はノイズに過ぎないという気概を持ち、今年も歩んでまいります。

大月 天道
ポートフォリオマネージャー
シニアアナリスト

業務でのAI活用をチーム全体で推し進めていますが、日々できることが増えていることを実感しています。AIを活用することでインプット・アウトプットの量は格段に増えている一方で、アナリストの価値とは出てきた情報に違和感や疑問を感じることができるかという点に尽きると思うので、今年も一層試行錯誤を積み重ねていきたいです。

穐山 美知太郎
シニアアナリスト

年末にnoteブログを3本連続配信しました。今回は小難しい内容になっていますが、ご覧いただけますと幸いです。シニアと若手が入り混じった新しい運用会社なこともあり、哲学やプロセス・ノウハウを言語化することは、組織力と継続力の強化につながると考えています。これからも発信に注力したいと思います。

清沢 星治
アナリスト

この度、運用チームに着任いたしました。新たな挑戦を前に、初場所を目前に控える関取・藤ノ川関の姿を自らに重ねております。小兵ながら真っ直ぐ巨漢に挑むその姿勢を見習い、泥臭い基礎を厭わず、受益者の皆様に長期にわたり白星が積み重ねられるよう、粘り強く精進いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

※巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

運用チームからのメッセージ(2/2)

関口 耕大

アナリスト

世界各地の良質なアクティブファンドについて、網羅性も重視しながらチームで調査を進めていますが、公開資料のほかに、ファンドマネージャーが書籍を著している場合も多く、体系だった理論に触れるたびに大いに勉強になっています。今年は両ファンドの進化で受益者の皆様に貢献できるよう、日々邁進してまいります。

運用チームメンバーがリレー形式で
投稿しているnoteはこちら

▶ ご連絡 ◀

当社運用部の副部長・居林とアナリスト・谷は、2025年12月末日をもって退職いたしました。これに伴い当面の間、運用部長の山本が「なかの日本成長ファンド」と「なかの世界成長ファンド」のポートフォリオマネージャーを兼任する運用体制へ移行いたします。「なかの世界成長ファンド」では、山本を中心に新たにアナリストを加え、調査・分析体制を強化することで、これまで以上に充実した運用体制を目指してまいります。

代表取締役社長　最高投資責任者（CIO）　中野 晴啓

この度、なかのアセットマネジメントを退社することとなりました。2年間の間、ファンドの設定、運用、報告と新しいトライを続けて来たことは大変誇りに思います。長期投資こそが投資の王道だと考えます。
（居林）

この度12月末日をもちまして、なかのアセットマネジメントを退職することとなりました。在職中はアナリストとして、皆様の大切な資産を託していただく一助を担えましたこと、心より光栄に存じます。
私はこれまで、「長期投資を日本の文化として育む」という弊社のビジョンに基づき、目先のパフォーマンスに一喜一憂することなく、世界各地のファンドマネージャーが持つ「運用哲学」や「真摯な姿勢」を見極めるための調査・分析に邁進してまいりました。国境を越えた対話を通じて、確固たる信念を持つ運用者と出会い、その情熱をポートフォリオを通じて皆様にお届けするプロセスは、私にとっても非常に充実したものでした。これまでの温かいご支援に、深く感謝申し上げます。（谷）

※巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

「なかの日本成長ファンド」「なかの世界成長ファンド」に
組み入れている銘柄の中から1社を取り上げご紹介します。

PICK UP COMPANY

朝日インテック（証券コード 7747)

2025年12月7日(日)、朝日インテック株式会社の宮田憲次社長をお迎えし、個人投資家向け会社説明会および特別対談を開催いたしました。 同社は、カテーテル治療に不可欠な「ガイドワイヤー」等の医療機器において、世界的に高いシェアを誇るグローバルニッチトップ企業です。多くの投資家の皆様にご参加いただき、同社の強固な技術基盤と経営哲学に触れる貴重な機会となりました。

冒頭のプレゼンテーションで強調されたのは、素材の調達から製造装置の設計、最終組立に至るまでを自社で完結させる「一貫生産体制」の強みです。 「量産性よりも、まずは医師が満足する性能を実現することを最優先する」という宮田社長の言葉通り、同社は採算や効率を度外視してでも現場のニーズに応える開発姿勢を貫いています。この徹底した現場主義が、他社の追随を許さない製品力と、高い参入障壁を築き上げていることが如実に伝わりました。

本セミナーのハイライトは、現在同社の成長を牽引する米国市場への進出にまつわるエピソードでした。 きっかけは1996年、米国の著名な医師から「日本の技術を米国でも使いたい」という熱烈なオファーを受けたことに遡ります。しかし、同社はここで拙速な拡大を選びませんでした。訴訟リスクや規制が極めて厳しい米国市場を冷静に見極め、実に7年もの歳月をかけて法規制対応や体制整備を入念に行いました。 万全を期して進出を果たした後も、市場環境の変化を見逃しませんでした。その後の業界再編を機に、それまでの代理店経由の販売体制から「直販体制」へと大きく舵を切ったのです。緻密なリスク管理に基づく周到な準備を含め、的確な経営判断の積み重ねが、現在の米国市場における確固たる地位へと結実しています。

質疑応答では、投資家の皆様が懸念される「海外生産における技術流出リスク」についても明快な回答がありました。コア技術をあえて特許化せずにブラックボックス化する戦略や、部材加工と組立の工程を完全に分断することで現地にノウハウを蓄積させない仕組みを徹底されているとのことです。こうした規律あるリスク管理体制に対し、会場からは安堵と信頼の声が聞かれました。
長期ビジョン「Building the Future 2030」においては、主力製品の更なるシェア拡大に加え、脳血管・消化器領域や治療用デバイスといった新規分野への挑戦も掲げられています。円安という外部環境の追い風だけでなく、現場の「技術力」と経営の「戦略眼」を兼ね備えた同社は、中長期的な視点で応援すべき企業であると強く再認識いたしました。

ポートフォリオマネージャー
シニアアナリスト　　大月

※巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

投資コラム

「トレンドとサイクル」(その11)バリュー投資⑤

前回の投資コラム（その１０）では、企業経営において、「人的資本（人財）」に対する経営マインドや人財育成投資や情報開示の重要性が急速に高まってきている現状に言及しました。これらへの対応はスタートしたばかりですので、個別企業における対応は多種多様な状況にあります。従って、情報開示された「人的資本」の内容を精緻に見ていくことで、企業評価や銘柄選択に活かすことが可能になっていることを説明しました。

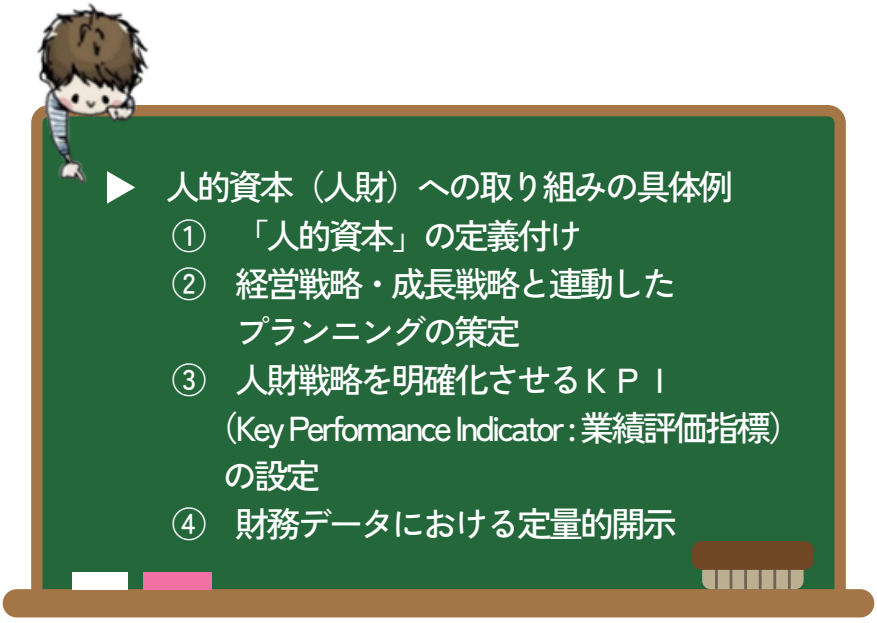
企業が現在取り組んでいる人財育成の為の体制整備や具体的な項目や数値結果の開示だけでは、その取り組みの成果が企業の付加価値にどのようにつながっていて、結果として最終的な収益性（成長率、利益率）や競争力（従業員一人当たり付加価値額）などに反映されてくるのかが明らかになりません。これらへの取り組みが、当該企業においても、株式投資により資産形成を行う投資家サイドにおいても、一段と進化し有効活用される為には、「人的資本」の定義付け、経営戦略・成長戦略と連動したプランニングの策定、人財戦略を明確化させるＫＰＩ（Key Performance Indicator：業績評価指標）の設定、財務データにおける定量的開示、などに踏み込まざるをえません。日本を代表する大手企業では、そこまでの開示資料を投資家に説明することで、ステークホルダー（従業員を含む当該企業を取り巻く全ての利害関係者）にコミットすることが始まっています。

例えば製造業のＡ社では、中期経営目標に掲げている具体的な複数の経営戦略に紐付けることで人財戦略を明記し、そのうちの半数以上に定量的に把握・管理出来るＫＰＩを例示しています。ＫＰＩの例としては、デジタル人財数、ジョブ型採用比率、サーベイスコア（適材適所、学び、エンゲージメント、働き方）、役員層ＤＥＩ推進状況など、網羅的で先進的な項目が並んでいます。
また別のＢ社でも、事業戦略と連動した付加価値創造による企業価値の向上と並行して、個人の成功・自信の波及を通じて多様な人財が輝ける様になることを人財戦略の軸として表明しています。具体的な管理指標としては、「人的創造性」を２０２３年から掲げていて、人財投資の強化、付加価値の向上、価値創造の好循環を図っています。「人的創造性ＫＰＩ」として、調整後営業利益を人財投資額（労務費＋教育訓練費＋福利厚生費）で割った数値で管理し、分母の増額以上の成果が分子の拡大につながっているのかを説明しています。

(次月号に続く)

田淵 英一郎

野村證券投資信託委託（現野村アセットマネジメント）に1978年入社、資産運用業務に47年間従事。企業調査アナリスト5年、ファンド運用17年、資産運用マネジメント業務17年、監査業務8年などを経験。野村アセット執行役員株式投信運用部長、野村ファンド・リサーチ常務取締役、みんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）常勤監査役などを歴任。
2024年7月より、なかのアセットマネジメント株式会社常勤監査役。美術検定2級、城郭検定2級修得。



これまでの「トレンドとサイクル」はこちらからご覧ください。
※マンスリーレポート3月～5月、なかの号通信6～12月号に掲載

※巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

"経済エッセイストコラム"

#4

年始の資産点検

NISAとiDeCoの賢い使い方

前回のコラムでは、iDeCoの制度改正について解説しました。今回は、資産形成の場面でよく比較される「NISA」と「iDeCo」について、それぞれの特徴と上手な使い分けを整理します。年の初めは、資産運用を始めたり、これまでの運用方針を見直したりするのに最適なタイミング。ご自身のライフプランに照らし合わせながら、制度の活用を考えてみましょう。

NISAとiDeCoの違いを端的に表すなら**「老後資金を目的とした年金制度かどうか」**という点にあります。NISAはいつでも資金を引き出せる一方、iDeCoは原則60歳まで引き出しができません。他にも違う点はありますが、年金かどうかという点が、使い分ける際の指標になります。今回は3つの視点から考えてみます。

①目的

NISAは資金の自由度が高く、結婚、出産、教育費、住宅購入など、将来使う時期が比較的はっきりしている資金の積立に向いています。一方のiDeCoは60歳まで引き出せませんので、やはり老後資金の準備が主な目的となるでしょう。

②職業・年収

iDeCoの掛金は全額が所得控除の対象となるため、所得税・住民税の負担が大きい方ほど節税効果が大きくなります。会社員や自営業者の方で、一定の所得がある場合は、まずiDeCoを活用し、余裕資金をNISAで運用するという組み合わせが有効でしょう。一方、専業主婦・夫など課税所得がない場合は、所得控除の恩恵を受けられないため、NISAを優先する方が合理的なケースが多くなります。

③年齢

たとえば、50代・60代の方で、短期間で老後資金を準備したい人は、NISAで資産を一気に積み上げる方法が考えられます。NISAでは年間最大360万円まで投資できますが、iDeCoの年間投資枠は14.4万円～81.6万円（2027年以降は90万円まで引き上げられる見通し）。急いで投資の元本を増やしたい…そんな場合は、NISAの方が有利です。

以下の表は世代ごとの活用案を私なりに提案したものです。それぞれのライフプラン・ライフステージに合わせて参考にして下さい。

	NISA	iDeCo	備考
会社員（20代・30代）	◎	○	収入が多くないであろう20代・30代は、iDeCoの所得控除のメリットが少ない。まずはNISAをメインにしてはどうでしょうか。加えて、少額でも構わないので、iDeCoも活用できればベスト。
会社員（40代）	○	◎	収入が上がると、所得控除される金額もアップ。収入が増えてきた40代以降の会社員の方は、iDeCoの枠を上限（14.4万円/年～27.6万円/年）まで使ってはどうでしょうか。税負担が軽減された分を、NISAへの投資へ回すのも良いですね。
会社員（50代・60代）	◎	◎	iDeCoもNISAもフル活用したいところ。投資元本を大きく増やしたい場合は、NISAで短期間で運用資金を積み立てるのも一案（最短5年間で1,800万円の積み立てが可能）。
自営業者・フリーランス	○	◎	フリーランス・個人事業主は、iDeCoに年間最大81.6万円拠出できます。所得控除のメリットがかなり大きいですね。60歳まで引き出せないことを留意しつつ、まずはiDeCo内での運用を検討しましょう。加えてNISAも活用できればベスト。
専業主婦・夫	◎	△	収入がない場合、iDeCoのメリットである所得控除が受けられません。基本的にはNISAを優先させましょう。

NISAとiDeCoは併用できる制度です。どちらか一方を利用するのではなく、ライフステージや資金の目的に応じて組み合わせることが、効率的な資産形成につながります。投資に回せる余裕資金がある場合は、両制度をバランスよく活用し、長期的な視点で資産運用を進めていきましょう。

※こちらのコラムは、隔月（2か月に1回）のペースでお届けしてまいります。

井戸 美枝　CFP®、社会保険労務士。
講演や執筆、テレビ、ラジオ出演などを通じ、生活に身近な経済問題をはじめ、年金・社会保障問題を専門とする。国民年金基金連合会理事。「難しいことでもわかりやすく」をモットーに数々の雑誌や新聞に連載を持つ。
『私の老後のお金大全』（日経BP社）『知らないと増えない、もらえない妻のお金新ルール』（講談社）『ゼロ活～お金を使い切り、豊かに生きる！』（扶桑社）など累計刊行96万部。

今日から始める、老後の資産づくり

「自分が将来もらえる年金額は？」「結局、老後資金はいくら必要？」「足りない分を増やすために今から何をしたらいい？」――。

いち早く備えたい20代30代から、老後不安が現実味を帯びてきた40代50代まで、すべての現役世代の疑問と不安に答える超実践的ガイド。5年に1度の年金制度改正にも対応。

＼新著／

※巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

ご自身にあった選択肢を考える

顧客本位の相談室

2026年、心ゆくまで。
新しい1年を「整え」から始めませんか？

「今年からNISAの金額を増やしたいけれど、家計とのバランスは？」
「去年始めたけれど、このままでいいのかな？」
新年の清々しい空気の中で、お金のモヤモヤをスッキリさせませんか？
投資は長く続けるもの。だからこそ、最初の一歩あるいは再確認の一歩を
丁寧に踏み出すことが、未来の自分へのプレゼントになります。

対面・ZOOMでのご相談時間を“1時間”に拡大しました！

30分 ➡ 1時間

「もっとゆっくり話したい」「操作まで教えてもらえて助かったけど、30分だと少し焦る」
そんな多くのお声にお応えして、今月より相談枠を1時間に拡大いたしました。
じっくり派の方も安心 ➡ ライフプランの背景から丁寧にお伺いします。
操作サポートも余裕がもてます ➡ 画面を見ながら1つずつ設定を確認できます。

お客様から先日こんなお問い合わせがありました

**「実は、いま入っている保険の見直しについても迷っていて
……こんなことまで聞いていいですか？」**

私の答えは**「もちろんぜひ！一緒にお話ししましょう」**です。
資産運用も保険も、お客様の大切な人生を守るためのパーツ。
バラバラに考えるのではなく**トータルで整える**ことが本当の安心につながります。
今月からはご相談時間が1時間に拡大しました。
時間が足りなくて諦めていたことも、これからはじっくりお聞かせください。

担当：高野具子（FP資格保有）

**2026年、心にゆとりを持ってスタートできるよう
精一杯お手伝いさせていただきます！**

【お申し込み方法】 ※ご相談料は無料です。

①お電話の場合

03-3662-1401

[受付時間]9:00-17:00
（土日・祝、年末年始は除く）

②お申し込みフォームの場合

YouTubeも公開中♪

※巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

セミナー情報

◆1月セミナースケジュール◆

日付	時間	地域	概要	会場
1月11日(日)	15:00 - 16:30	大阪	＜つみたて王子×ご意見番の新春セミナー＞ 2026年、なかのアセットの進む道	エル・おおさか 本館5階 視聴覚室
1月12日 (月・祝)	15:00 - 16:30	茅場町	＜つみたて王子×ご意見番の新春セミナー＞ 2026年、なかのアセットの進む道	FinGATE KAYABA
1月23日(金)	14:00 - 16:00	大阪	大阪取引所見学ツアー＜横山社長×中野 特別対談＞	大阪取引所
1月31日(土)	14:10 - 15:00	有楽町	“楽天証券 新春フォーラム2026” 長期投資「以上」はアクティブ戦略でできる？	東京国際フォーラム

\告知/2月8日(日)金沢で「長期投資で資産を育てる 今こそ学ぶ正しいお金の知識」開催

NISAの制度設計にも携わった“つみたて王子”こと中野晴啓(なかのはるひろ)が金沢で特別セミナーを開催します！
本セミナーでは、新NISA3年目のスタートに役立つ「正しいお金の知識」を長期・積立投資の第一人者がわかりやすく解説します。投資初心者から投資歴の長い方まで、学びと実践の第一歩を踏み出すチャンスです。
皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時　：2026年 2月8日(日)14:00 ~ 16:00
会場　：石川県女性センター 大会議室
参加費：無料
定員　：80人(事前申込み制)

詳細・お申し込みはこちら

Follow me!

セミナーやイベントの詳細な情報は随時当社の公式HP・SNSでご案内しております。
アカウントをフォローしていただくことで、最新情報をいち早くご確認いただけますので、ぜひご登録ください。

LINE　X　YouTube　note

※巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

ご報告

楽天証券スピンオフセミナー終了のご報告

2025年12月14日(日)に開催した「長期投資のプロの視点を“ハック”！投資哲学と投資先の選び方を徹底解説セミナー」ではたくさんの方にご参加いただき誠にありがとうございました。
今後も皆さまの資産づくりにおいて役立つ企画をお届けしていきたいと思います。
引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

◆◆お知らせ◆◆

2026年1月31日(土)10:00〜17:00　楽天証券主催イベント
“楽天証券 新春フォーラム2026”のプログラム『長期投資「以上」はアクティブ戦略でできる？』に、代表中野が登壇します。
※事前申込制（楽天証券会員様のみお申込みいただけます。）

詳細はこちら→

SCAN HERE

『なかの号通信』読者アンケート

いつも『なかの号通信』をお読みいただき、ありがとうございます。
読者の皆さまのご意見・ご感想は、今後の紙面づくりにとって何よりのヒントになります。
今月の『なかの号通信』の中で一番よかったコンテンツやご意見・ご感想などございましたらお聞かせください！
また『なかの号通信』で今後取り上げてほしいテーマや関心のある話題も募集中です。
皆さまのお声を、より良い誌面づくりに活かしてまいります！

こちらよりご協力をお願いします👉

最後までお付き合いいただきありがとうございました。来月号は2/6発行予定です。

≪当資料をご利用にあたっての注意事項等≫
■当資料は、なかのアセットマネジメント株式会社の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。また、銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書（交付目論見書）に詳しく記載されております。お申込にあたっては販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
■当社の投資信託は信託報酬等の費用がかかります。
■コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。
■当情報は発行者の許可なく転載、第三者への提供は禁止します。
【発行】なかのアセットマネジメント株式会社　（設定・運用を行います）
【金融商品取引業者】関東財務局長（金商）第3406号
【加入協会】一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
【お問い合わせ先】電話番号：03-3662-1401　9:00〜17:00（土日祝日、年末年始を除く）
https://nakano-am.co.jp/　ホームページからもご覧になれます。